

《肥料の施用方法》

窒素肥料は控えます(実つきが悪くなる為)。また極早生以外の品種は株間を20cm以上あけましょう。

◎元肥 (1㎡当たり)

豆専用さんわダブル → 80g
他に…トヨクween(石灰) → 150g
吟遊詩人(バーク堆肥) → 2kg

◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

豆専用さんわダブル

又は**おいしい菜園** → 30g

※開花し始めから咲きそろう当りに追肥する。施しすぎや早すぎる追肥は実入りが悪くなるので要注意。それでもまだ草勢が足りないと思う時は、実が太り始める頃に軽く追肥しても良い。



さんわダブルとは…

チッソ成分が6と極端に少なく、リン酸・カリが20ずつ入った豆類に最適な化成肥料。

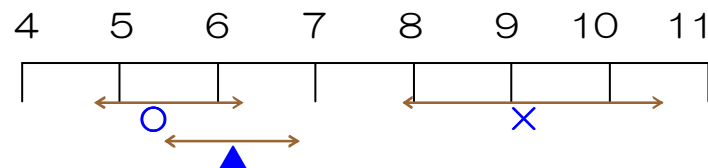
枝豆は窒素分がなるべく少ない肥料を使います。一般の化成を使う場合は量を少なめに。

えだまめ

▶特徴と栽培のポイント

枝豆は大豆の未熟種子で栄養価が非常に高く、古くは奈良時代の書物にも登場する程人々に長く愛されています。今も夏の風物詩として欠かせない枝豆ですが、とうもろこし同様、採れたて茹でたてが一番美味なので、ぜひご家庭で栽培して頂き、夏の疲れを癒して頂ければと思います♪

▶栽培カレンダー ○播種 ▲定植 ×収穫



枝豆には早生から晩生まで様々な品種があるので、まずは収穫時期に合わせた品種選びが重要となる。発芽適温は20~35℃(生育適温は20~25℃)が目安なので早まきは避け、2~3粒ずつ点まき(播種間隔は、早生豆は狭く、晩生豆は広くが基本)し、間引きを行う。ある程度大きくなるまで鳥や害虫の被害に合いやすい為、被覆材や種子消毒薬で必ず予防する。豆の莢を指で押して豆が飛び出る頃が収穫の適期。採り遅れに注意する。

《人気の品種》

●湯あがり娘

ほぼ3粒入りの中早生品種。茶豆のような風味とショ糖が多く含まれ味は絶品！お盆頃の収穫に適し当地域では最も人気がある。



●あじみのり *あじみのり*

播種時期は湯あがり娘とほぼ同じ。約78日で収穫の早生品種。莢はやや小ぶりだが太りは良く、独特の香りと強い甘味が特徴の風味豊かな枝豆。多収で揃いも良く株全体に着莢し栽培も容易なのでオススメ。

●秘伝

晩生豆の定番品種！5月下旬から6月上旬に播種し、10月収穫が目安。風味・甘味ともに絶品で、莢の太りも良い豊産種。稲刈等で疲れた後の一杯には欠かせない一品♪

